

様式第2号

平成22年度 安曇野市地域包括支援センター運営協議会(第3回) 会議概要

1	審議会名	第3回安曇野市地域包括支援センター運営協議会
2	日時	平成23年3月23日(金) 午後1時から午後2時まで
3	会場	穂高健康支援センター 計測室
4	出席者	宮澤会長、二村副会長、小穴委員、越原委員、三澤委員、田村委員、唐澤委員、松嶋委員、山田委員、奥永委員、樋口委員 (欠席)伊佐津委員、上條委員、勝山委員
5	市側出席者	務台健康福祉部長、保高介護保険係長、宮下介護予防係長、市地域包括支援センター(沓掛主任介護支援専門員、中澤主任介護支援専門員、藤沢(芳)保健師、岩原社会福祉士)、東部地域包括支援センター(松澤主任介護支援専門員、藤澤(宏)保健師)、南部地域包括支援センター(岡村社会福祉士、木口主任介護支援専門員、山岸看護師)
6	公開・非公開の別	公開
7	傍聴人	0人 記者 0人
8	会議概要作成年月日	平成23年4月15日

協 議 事 項 等

会議の概要

会議の概要

1 開 会

2 会長あいさつ

3 議題

(1) 南部地域包括支援センター開設までの引継ぎ等準備状況について

南部地域包括支援センター職員の紹介

(2) 介護予防支援事業所及び地域密着型サービス事業所の指定について

(3) 平成22年度介護予防ケアマネジメント委託先事業所の承認について

(4) 平成23年度介護予防ケアマネジメント委託先事業所の承認について

(5) 成年後見支援センターの開設について

4 その他

5 閉 会

2 審議概要

(1) 南部地域包括支援センター開設までの引継ぎ等準備状況について

南部地域包括支援センター職員の紹介

(2) 介護予防支援事業所及び地域密着型サービス事業所の指定について

委員：耐震構造についてはどうなっているか。

事務局：この図面だけでは判断できないので、事業所の委員お願いする。

委員：設計士を依頼して、建築の関係と協議をして対応している。2階建てですが、1階が70坪という作りでデイは1階のみを利用する。基礎についても設計して、土台の補強も指導受けて対応している。

会長：こういうことについては協議会で良い悪いを決められないので、こういう意見があるので行政の方でもチェックをお願いする。(承認)

(3) 平成22年度介護予防ケアマネジメント委託先事業所の承認

(4) 平成23年度介護予防ケアマネジメント委託先事業所の承認

会 長：承認として、よいか。(承認)

(5) 成年後見支援センターの開設について

委 員：専門の福祉士が2名、弁護士、司法書士の方が週2日くるということですが、この弁護士、司法書士の方は固定ですがそれとも何人かいるのか。

事務局：弁護士会、司法書士会にお願いをしてローテーションになる。初めに相談言った先生のところは次回もというのは難しいかなと思う。細かい手続きについては、それぞれの先生の事務所に行くことになろうかなと思う。

会 長：実際はまだ行ってないところなので、難しいかなと思う。

その他

事務局：一人暮らしの高齢者に緊急連絡表について、民生委員を通じて配布の周知。5月まで地域包括支援センターの愛称の募集を行う。次回会議は事業報告を含めて5月中旬くらいに行きたい。

会 長：緊急連絡表について、ここに主治医と書いてあるが、主治医とは思うことがある。1回かかったことがある人は患者から見れば主治医ということがあるかもしれないが、医師としては難しいこともあると思う。双方の了解ということは取れないものかと思いますが。医師のほうも把握した上で記入するのか、患者の一方的なものでよいのか。

委 員：関連して何年か前に受診したかということも出てくる。何年以内の受診でよいのかという判断はあるか。あれば医師会を通して市でもこういうことをしていると伝えていけたらと思うが。

会 長：あんまり固いことはと思うが、本人の状態の把握ができていないと不安な面がある。

事務局：利用者と医師がお互い認識していることが大事かなと思う。

会 長：一人暮らしの方の情報として、この方は主治医と知っているという情報が欲しいと思います。なければまずいかなと思う。

事務局：実態把握事業が新年度の事業が始まりますので、受診状況、主治医の方との連絡について声かけをしていきますので、そのあたりから確認を始めたと思う。